



成績の悪い糸瓜の骨密度

花岡直樹

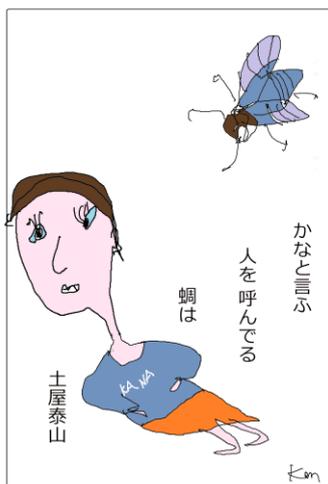
へちまの実の内部は強靱な繊維質で、タワシや靴の中敷に使われるが、骨密度としては成績が悪い。なるほどね。多少強引だが納得だ。



捕虫網何か求めて空を切る

稲沢進一

「空を切る」とは空振りのこと。何か求めてもつかめないもどかしさ。空振りの捕虫網ということだけで一句に仕上げて見事である。



かなと言ふ人を呼んでる蝸は

土屋泰山

蝸の鳴き声は、「かな」という人を呼んでいたんだね。「かな」が人名だとした俳句は初めて見た。こんな句を見ると嬉しくなるねえ。



生き方を変えたか花器の枯芒

上山美穂

枯れ芒は晩秋の高原にこそお似合いである。ところが思いがけず花器に活けられて、これが「サマ」になっている。枯れ芒も第二の人生に満足。



マスクメロン食って感染予防する

荒井 類

日本でコロナの感染者が少ないことの理由の一つがマスク着用の徹底らしい。感染予防になる食べ物と言えば、やはりこれでしょうね。



大夕焼熟れたる色をしてあたり

桑田愛子

俳句は感動の風景を文字化することが基本。夕焼けの色をチャートの色名で表現してもつまらない熟れた色として成功したね。